外郭団体に関する
特別委員会追加資料
（神戸医療産業都市推進機構）
令和８年１０月２８日

神戸医療産業都市推進機構
補足資料

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構

1．神戸医療産業都市推進機構の組織概要

理 事 長　成宮 周
専務理事　長谷川 達也、久保田 守、森 浩三
常務理事　速水 剛夫

計　166名　令和８年７月現在（役員を除く）

【常勤職員数】

経営企画部 等　53名

IBRI 先端医療研究センター　北村 俊雄 センター長　22名

自己免疫疾患・脳疾患・感染症等の研究開発に関して、疾患の克服を目指し、企業等と連携した診断法や治療法の開発・実用化の取り組みを推進

TRI 医療イノベーション推進センター　川本 篤彦 センター長　56名

国内外の新たなシーズで新規性の高い医薬品、再生医療製品、医療機器等の承認を目指してトランスレーショナルリサーチ(橋渡し研究）を進め、早期の実用化を促進

再生医療製品開発室　27名

CCD クラスター推進センター　久保田 守 センター長代行　８名

企業、研究機関・大学、医療機関等との融合・連携を促進し、集積による相乗効果を生み出すとともに、一貫した支援体制の構築と神戸医療産業都市の国際展開等を推進

２．第６期経営計画の推進（令和７～11年度）

（１）法人全体のビジョン

・神戸医療産業都市の中核的支援機関として、自ら研究開発シーズを萌出し実用化するとともに、神戸医療産業都市における医療技術の実用化・産業化を支援する。

・神戸医療産業都市を核に神戸市全体が、バイオ・メディカル分野の人材、情報、知恵が集まって新たな成果や価値を生み出す産学官医の知の拠点となり、**神戸市民の福祉の向上**や、**地域経済の振興等を促進**して**神戸のまちの持続的発展と市民の安全、安心で豊かな暮らしの実現に貢献**する。

（２）重点的取り組み事項

①中核的支援機関の役割並びに産官学医の連携・融合の強化

ⅰ）現行プロジェクトの**実用化の推進**

ⅱ）新たなシーズの萌出及び実用化に向けた**プラットフォームの形成**

ⅲ）多様な担い手による支援の**効率的な提供**

ⅳ）神戸医療産業都市を核とした**ネットワーク形成の促進**と**積極的な情報発信**

②組織運営の最適化

ⅰ）センターの相互の連携による**研究開発支援の専門性**、**クラスター形成支援の質の向上**

ⅱ）**ガバナンスの徹底**による**安定した財政運営**、**PDCAサイクルに基づく事業運営**

ⅲ）企業等の支援ニーズに応じた資源と**組織規模の最適化**

ⅳ）神戸市や神戸市民、進出企業などのステークホルダーに対する**説明責任の遂行**

２．第６期経営計画の推進（令和７～11年度）

（３）経営計画の具体化に向けた主な取り組み

①中核的支援機関の役割並びに産官学医の連携・融合の強化

ⅰ）連携研究プロジェクトの推進

・**「創薬AI Platform Kobe プロジェクト」**

中央市民病院や理化学研究所等との連携によるAI創薬プラットフォームの構築

・**「加齢性難聴と内耳再生プロジェクト」**

中央市民病院、神戸大学、京都大学、京都府立医科大学による内耳再生プロジェクトの実施

ⅱ）集積から連携のステージへ

・神戸医療産業都市に集積する様々なエキスパートや組織の交流を促進する新たな機会を創出

・令和８年より「神戸医療産業都市におけるイノベーション創出に向けた連携協定」を背景に、関係機関とともにKBIC Forumを実施する等、Communityの形成を進め、神戸医療産業都市全体の活性化に取り組んでいる。

2．第６期経営計画の推進（令和７～11年度）

②組織運営の最適化（収支改善の取り組み）

※令和６,７年度決算の増減比較

「第６期経営計画」の初年度である令和７年度は、既存業務と組織体制の見直し等、経営の合理化を進めたことにより、収支は前年度より４億円改善し、決算は3億4,800万円の黒字となった。

【主な取り組み】　　**効果額**

- 医療イノベーション推進センターにおける受託事業収入の増加　１億円
- 組織体制の効率化による人件費の削減　１億円
- 外部資金を主な原資とする研究活動の見直し　0.8億円
- 過年度貸倒引当金の回収　0.8億円
- 賃貸区画の整理・圧縮による賃貸料の削減　0.1億円

単位：百万円

区　　分		①令和７年度決算			②令和６年度決算			増△減（①－②）		
		収入	費用	損益	収入	費用	損益	収入	費用	損益
公１会計	先端医療研究センター	774	779	△5	963	993	△30	△189	△214	25
	施設管理運営事業（KHBC等）	355	246	109	293	263	30	62	△17	79
公２会計	クラスター推進センター	262	264	△2	382	382	-	△120	△118	△2
公４会計	医療イノベーション推進センター	897	644	253	727	750	△23	170	△106	276
公５会計	再生医療製品開発室	196	192	4	174	173	1	22	19	3
公益目的会計　小計		2,484	2,125	359	**2,539**	**2,561**	**△22**	**△55**	**△436**	**381**
収１会計	再生医療製品開発事業	127	114	13	109	95	14	18	19	△1
	PET薬剤製造事業	53	51	2	75	59	16	△22	△8	△14
収２会計	賃貸事業（IMDA）	123	81	42	131	78	53	△8	3	△11
	賃貸事業（アイセンター・KCMI等）	245	312	△67	225	309	△84	20	3	17
収３会計	動物実験飼育施設	111	221	△110	144	260	△116	△33	△39	6
収益事業等会計　小計		659	779	△120	**684**	**801**	**△117**	**△25**	**△22**	**△3**
法人会計		578	469	109	**487**	**401**	**86**	**91**	**68**	**23**
合　　計		**3,721**	**3,373**	**348**	**3,710**	**3,763**	**△53**	11	△390	401

※上記の数値は、正味財産増減計算書における「一般正味財産増減の部」における数値を記載・内部取引を含む

３．研究開発の状況（先端医療研究センター）

（１）免疫医療研究の推進

・企業との共同研究において、SLEなどの自己免疫疾患、アレルギー疾患等に対する薬剤としての安全性を検証するため、「PD-1アゴニスト抗体（※）」の臨床試験を開始している。

※免疫の反応を抑える分子である「PD-１」の免疫抑制を誘発強化し免疫を鎮静化する作用を持つ抗体

（２）神経変性疾患研究の推進

・アルツハイマー病神経細胞死の原因となる「アミロスフェロイド」とその毒性標的ナトリウムポンプに対する、３つの治療法の研究開発を進め、疾患の克服を目指している。

（３）脳血管再生及び脳梗塞治療法開発の推進

・幹細胞の神経機能再生メカニズムを応用し、脳梗塞や認知症の治療法・診断法の開発に向けて、企業との共同研究を進めている。

（４）感染症制御研究の推進

・ウイルス性肝炎、慢性肝炎によって起こる重症肝疾患（肝硬変や肝細胞がん）の病態形成メカニズムの解明に向けた研究を進め、 B型肝炎の克服を目指している。

＜研究センター（クリエイティブラボ神戸6階）＞

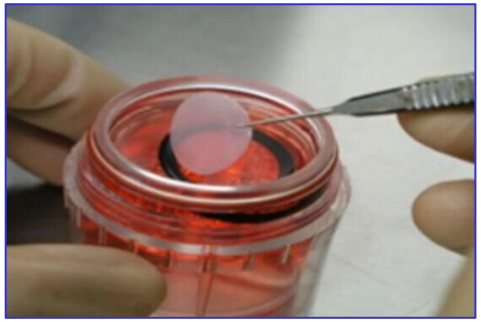


４．開発・支援事例（医療イノベーション推進センター）

（１）製品化した事例

・難治性眼表面疾患に対する角膜再生医療等製品（サクラシー®）
・鼓膜が破れた状態に対する鼓膜再生医療等製品（リティンパ®）
・発声障害患者に対する医療機器開発の支援（チタンブリッジ®）
・脊髄損傷患者に対する再生治療法開発の支援（ステミラック注®）
・筋萎縮性側索硬化症（ALS）に対する医薬品開発の支援（ロゼバラミン®）

<サクラシー®>



（２）令和8年度承認および承認予定の事例

・食道がんに対する再生治療法開発の支援（テロメライシン注®）（令和８年６月承認）
・難治性骨折患者に対する医療機器開発
・脳腫瘍患者に対する医療機器開発
・外耳道軟部組織欠損を有する患者に対する医薬品の開発

（３）開発中の事例

・重症下肢虚血患者（下肢動脈の閉塞による重症血行障害）に対する再生医療製品の開発
・変形性膝関節症に対する再生医療製品の開発

5．連携・事業化支援の事例

（1）スタートアップの支援

・スタートアップの集積・育成に向けて、「ヒト・モノ・カネ」の総合的な支援を実施

KBIC企業・団体
334社中
53社が
スタートアップ
（令和８年５月末）

ヒト （人材育成／成長）	• コーディネーターによる伴走支援 • スタートアップ支援プログラム「Kansai Life Science Accelerator Program（KLSAP）」
モノ （活動拠点）	• ラボ等活動拠点の紹介 • 共用機器の提供
カネ （補助金／資金調達）	• VC／金融機関紹介

（2）病院連携窓口の設置

・医療機関との連携を希望する企業・研究機関・大学等からの相談をメディカルクラスターの高度専門医療機関（８病院）へと連携

（3）KBIC FORUMの開催

・神戸医療産業都市(KBIC)に集積する、様々なエキスパートや多様なノウハウを持つ人/組織の交流を促進する新たな機会として、講演会や情報交換会を実施。

（開催数：令和７年度４回　令和８年度１回　※令和８年６月末時点）

6．市民向け情報発信の事例

（１）神戸医療産業都市 一般公開の開催

・研究機関、大学、病院、企業などの施設を一斉に公開するイベント

（令和７年10月実施／参加者数：のべ13,216名）

※令和８年度は、10月31日（土）に開催

＜観察体験(理化学研究所) ＞



（２）出前授業/授業受入の実施

・学校への出前授業による神戸医療産業都市の紹介や、

学習のフィールドとして神戸医療産業都市を活用した授業への協力

（令和７年度：出前授業17件、授業受入９件）

※令和８年度６月時点：出前授業２件／授業受入７校　（予定含む）

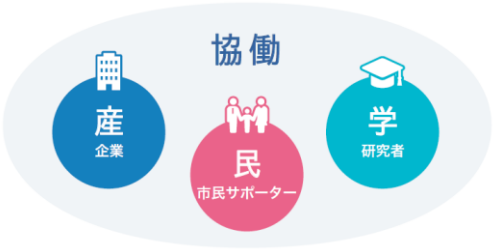
＜学校での出前授業 ＞



（３）「ヘルスケア市民サポーター制度」の展開

・市民にヘルスケア分野のモニター調査などへ参画いただき、市民の健康増進及び新たな製品事業化などに取り組んでいる（令和８年６月末時点登録者数：3,565名）





（参考）令和７年度・令和８年度予算の比較

令和８年度予算では、公的研究費や共同研究費、受託事業収入などの外部資金獲得に向けた取り組みを進め、
収入の確保に努めるとともに、引き続き経営改善に努め、費用の圧縮を図ることで単年度の損益収支の黒字を計上している。

単位：百万円

区　　分		① 令和８年度 予算			② 令和７年度 予算			増△減（①－②）		
		収入	費用	損益	収入	費用	損益	収入	費用	損益
公１会計	先端医療研究センター	776	787	△11	804	828	△24	△28	△41	13
	動物実験飼育施設	213	212	1	-	-	-	213	212	1
	施設管理運営事業（KHBC等）	472	467	5	337	266	71	135	201	△66
公２会計	クラスター推進センター	234	234	-	305	306	△1	△71	△72	1
公４会計	医療イノベーション推進センター	616	616	-	626	625	1	△10	△9	△1
公５会計	再生医療製品開発室	281	276	5	215	208	7	66	68	△2
公益目的事業会計　小計		**2,592**	**2,592**	**-**	**2,287**	**2,233**	**54**	**305**	**359**	**△54**
収１会計	角膜再生医療製品製造事業	128	118	10	130	117	13	△2	1	△3
	ＰＥＴ薬剤製造事業	86	84	2	51	51	-	35	33	2
収２会計	賃貸事業（IMDA）	125	92	33	130	97	33	△5	△5	-
	賃貸事業（アイセンター・KCMI等）	115	128	△13	225	292	△67	△110	△164	54
収３会計	動物実験飼育施設	-	-	-	139	226	△87	△139	△226	87
収益事業等会計　小計		**454**	**422**	**32**	**675**	**783**	**△108**	**△221**	**△361**	**140**
法人会計		**609**	**570**	**39**	**582**	**450**	**132**	**27**	**120**	**△93**
合　　計		**3,655**	**3,584**	**71**	**3,544**	**3,466**	**78**	**111**	**118**	**△7**